

本会世話人の浜地道雄さんが、NYCでIPB（1910年にノーベル平和賞を受賞した国際平和ビューロー）主催の国際会議「TWO MINUTES TO MIDNIGHT」に参加して、チョムスキーの講演を聴き、懇親会で憲法9条の世界的重要性と安倍改憲の危険性について意見を交わした、貴重な詳報です。

＊

★「世界の良心」、チョムスキー教授に再会★

国会をはじめ、世はモリカケ問題、セクハラ問題で賑っています。が、目を世界に向けると「南北朝鮮問題」「イラン核合意破棄」「米大使館エルサレム移転」と、地球規模の大問題が発生しています。ここで、どうしても看過できないのが、「世界平和」とは真反対のアベサンの「地球儀俯瞰外交」。（本欄、拙稿、2018年3月5日）そこに記したごとく、世界唯一の被爆国でありながら、「核兵器廃絶」へのアベ政権の消極姿勢は如何なることか？

- ・国連核不拡散条約（NPT）に署名をしない。
- ・ノーベル平和賞2017受賞に祝辞も送らず、来日フィンICAN事務局長の面談要請を断る一。

結論を先に言えば、「個人的信頼関係にあり」「100%信じている」米トランプ大統領への「忖度」ということでしょう。

そんな、いてもたってもいられない気持ちの折、New York City で、怒涛のような4日間（5月11日—14日）を過ごしてきました。

9条を軸とする「教育(異文化理解)」と「(世界)平和」という点で、二人の要人に再会できました。（中満泉UN軍縮担当次長には面談ならず1

1) ハイライトは何といてもIPB（1910年にノーベル平和賞を受賞した国際平和ビューロー）主催の国際会議「TWO MINUTES TO MIDNIGHT」。即ち、終末時計による「もう後2分」という地球危機。」

於：Judson Memorial 教会（ワシントン広場）

12日、土曜日、朝10時から夕刻16時までびっしり。250人。

話題の「ペンタゴン機密文書(ベトナム戦争の愚)」を暴露したDaniel Elsborg氏も参加（ネット中継）。

中で、N・チョムスキー教授が45分の講演。The Fate of Humanity。

まさに人類の運命、もう二分しか残されてないのか？

日本のメディアでは共同通信と赤旗が取材をしていたが、ここでは南北朝鮮問題にも言及しています。

<https://www.sankei.com/wo.../news/180513/wor1805130006-n1.html>

https://www.jcp.or.jp/.../aik.../2018-05-14/2018051403_02_1.html

90才という歳を超越した、張りのある声、主張、思想、世界平和論。トランプ政治への批判。

そして、事後、どうしたことか懇親会にも誘われ、そこで、チョムスキー教授に直接、筆者の最大の関心事「世界の宝憲法九条」について質問。

「非常に重要」とし、アベ政権による改憲の動向も認知しており、まさに「トランプに追従などとはとんでもないこと」との即答が返ってきました。

思えば2014年1月、来日時に「憲法9条にノーベル平和賞を」運動を励ましてくれた姿勢と寸分も変わっていない。

尚、チョムスキー教授が胸にしているのは、昨年受賞のショーン・マクブライド平和賞のメダルです。

2) ICAN (2017ノーベル平和賞) の一員であるHibakusha-Stories 核兵器の悲惨さを若き世代に伝えんと、NY地区を中心に学校訪問し、高校生に「語り部」を務めている。

5月14日、月曜日、マンハッタン50丁目のWest Endにある高校での授業を視察。

校内には主としてスペイン語が中心の掲示ばかり。ということは中南米出身でしょう。

が、授業は英語で、核融合の仕組み、爆発の仕組みの解説が始まり、ウラン、プルトニウムと専門用語が続きますー（汗）。

そして私もひとこと。「戦争放棄を宣言した憲法九条」の紹介ー。皆「知らなかったー」とのコメント。

さて、この草の根運動を通じて、未来の世代が広島・長崎（の悲劇）を知り、大いに

世界平和の旗手になっていくのを楽しみにー。

浜地道雄 (国際ビジネスコンサルタント)

「九条成立資料：ユネスコ記憶遺産登録」共同申請人、

「9条地球憲章の会」世話人

mail:TBE03660@nifty.com

<http://www.jjcl.jp/voice/index.html>



SANKEI.COM|作成: 産経ニュース

【南北首脳会談】「米は朝鮮半島問題に干渉するな、という趣旨だ」 「板門店宣言」を米の有名言語学者が読み取る